

第73期中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日



おいしさ、ふれあい。
スリマール

証券コード:2281

株主の皆様へ



株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素より格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、2019年4月1日から2019年9月30日までの当社グループの経営成績につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2019年12月

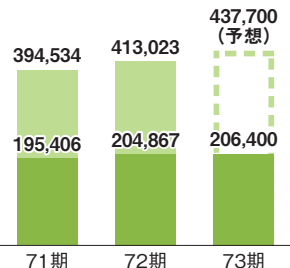
代表取締役社長 千葉尚登

連結財務ハイライト

■ 売上高

2,064億円
(前年同期比0.7%増)

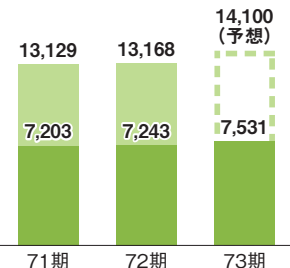
■ 中間期 ■ 通期 (単位: 百万円)



■ 営業利益

75億円
(前年同期比4.0%増)

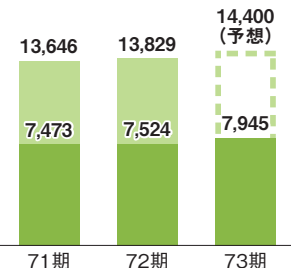
■ 中間期 ■ 通期 (単位: 百万円)



■ 経常利益

79億円
(前年同期比5.6%増)

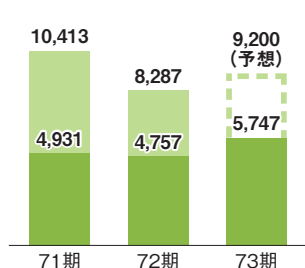
■ 中間期 ■ 通期 (単位: 百万円)



■ 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

57億円
(前年同期比20.8%増)

■ 中間期 ■ 通期 (単位: 百万円)



※予想数値は、2019年10月31日決算発表時で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、事業環境などの変動により、予想とは異なることがあるをご承知おきください。

上半期営業の概況

上半期営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、内需を支えるファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)はしっかりしており、緩やかな回復基調を続けています。但し、人手不足からの人件費や物流費の上昇は、企業業績を圧迫し、個人消費は持ち直しているものの、10月からの消費税増税の影響により、個人消費が足踏みする懸念も抱かれています。また、報復を繰り返す米中貿易摩擦は、解決の糸口が見えない状況が続いており、他の地政学リスクも含め、輸出企業にとっての懸念材料となり、特に中国経済の低迷は外需停滞により景気を押し下げる状況となり、先行きの企業業績や世界経済に不透明さを与えています。

当業界におきましては、豚肉の国内販売については国産豚肉相場の乱高下が激しく、安定しないことから、仕入販売においては利益の取れない厳しい状況となりました。輸入豚肉は、中国のアフリカ豚コレラの影響による輸入動向の変化を睨んで様子をうかがう状況が続いており、北米の生産状況は好調なものの、調達環境に不透明感を抱えています。またアフリカ豚コレラの影響は、牛肉や鶏肉の相場にも影響を及ぼすものと考えられ、その動向に注視する状況が続いています。国産鶏肉は生産も順調で相場も安定しているものの、ブラジルやタイは、アフリカ豚コレラの影響から中国の引き合いが強く、現在は安定しているものの、今後、価格は上昇方向に向かうと考えられます。また、景気に停滞感が表れ始めていることから、消費者の低価格志向、節約志向は強く、企業間の競争も激化し、事業環境は厳しいものとなりました。

このような状況のなか、当社グループは「健康で豊かな食生活を創造するために安全・安心な商品を提供し、社会と食文化に貢献していく」という基本的な考えのもと、中期経営計画の目標の達成に向けて、「コーポレートガバナンス強化とCSR推進による継続的な経営革新」、「既存事業の領域拡大及び収益基盤の更なる強化」、「成長市場に向けた事業創造とグローバル展開」を基本方針と位置づけ、諸施策を講じてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は2,064億円(前年同期比0.7%増)、営業利益は75億31百万円(前年同期比4.0%増)、経常利益は79億45百万円(前年同期比5.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は57億47百万円(前年同期比20.8%増)となりました。

セグメント概況

セグメント概況

●加工食品事業部門

〈ハム・ソーセージ部門〉

「香薫[®]あらびきポークウイナー」は好調な販売が継続し、重点商品を中心とした販売活動や同時に推進しているLINEや東京ディズニーシー[®]貸切プレシャスナイトへのご招待キャンペーン、茨城新工場竣工記念増量セール等の販売促進政策は、販売数量拡大に貢献しました。また工場においては、生産性向上のための改革・改善を継続実施し、人時生産性向上やユーティリティコスト削減などを推進し、コスト競争力を着実に高めてまいりました。更に茨城新工場が7月から本格的に稼働を開始し、生産体制の構築等を順調に進めてまいりましたが、ハム・ソーセージ部門においては、市場環境の厳しさが影響し、販売数量・売上高ともに前年同期を下回る結果となりました。

〈加工食品部門〉

コンシューマ商品ではプリマヘルシーの「サラダチキン」を中心にバリエーションの増加や簡便性を志向した「一皿のごちそう」、「スパイススティック」、「絶品点心春巻」などの商品を拡販するとともに、コンビニエンスストアを中心にプライベートブランド商品についても積極的販売に取り組みましたが、市場環境の厳しさが影響し、販売数量・売上高ともに前年同期を下回る結果となりました。

コンビニエンスストア向けのベンダー事業については、新商品開発とエリア拡大により売上高は前年同期を上回り、利益面においても生産性向上や原材料の安定確保も寄与したことから前年同期を上回る結果になりました。

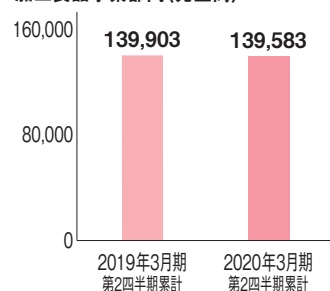
結果、加工食品事業部門における売上高は1,395億83百万円（前年同期比0.2%減）となり、セグメント利益は67億63百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

●食肉事業部門

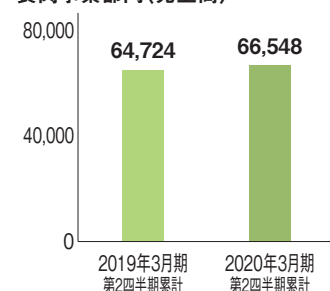
国際的な仕入れ競争激化により、食肉の仕入れ環境は極めて厳しいものとなりましたが、「オレガノビーフ」や「ハーブ三元豚」、「米どり」などのオリジナルブランド商品の拡販や得意先の新規・深耕開拓を積極的に行い、食肉の売上拡大に努めたこと、及び生産事業の拡大が売上高の増加に貢献しました。但し、利益面においては、国産豚肉生産事業において出荷頭数・重量減による利益減少、及び販売事業において相場乱高下により利益を確保しづらい状況が続き、前年同期を下回る結果になりました。

結果、食肉事業部門における売上高は、665億48百万円（前年同期比2.8%増）となり、セグメント利益は6億39百万円（前年同期比25.4%減）となりました。

加工食品事業部門(売上高) (単位:百万円)



食肉事業部門(売上高) (単位:百万円)



中期経営計画

基本方針

営業力・開発力・商品力の強化により、
売上と利益の規模と質を高め、ESGを重視した経営を推進し、
「いつも、ずっと、お客さまに愛され、支持される会社」になる。

コーポレートガバナンス強化とCSR推進による 継続的な経営革新

- 品質保証体制の強化
- 環境保全の推進、法令順守と内部統制、財務・非財務情報の充実
- 人材育成、職場環境の向上、変革意識の醸成

既存事業の領域拡大及び収益基盤の更なる強化

- 事業基盤の強化（コスト構造改革・将来を見据えた投資）
- 営業力と成長領域への取り組み強化
- 消費者視点での商品政策（安全・安心・おいしい・健康）

成長市場に向けた事業創造とグローバル展開

- 伊藤忠商事とのコラボレーションを主体とした国内外事業展開
- 革新的技術の開発・導入
- グループ会社との連結経営強化



■連結損益計画(ローリングプラン)

	2019年3月期実績	2020年3月期計画	2021年3月期計画	2022年3月期計画
連結売上高	4,130億円	4,380億円	4,560億円	4,730億円
営業利益	132億円	141億円	157億円	167億円
経常利益	138億円	144億円	160億円	172億円
親会社株主に帰属する当期純利益	83億円	92億円	101億円	112億円
ROE	9.9%	10.1%	10.4%	10.6%
ROIC	7.9%	8.3%	9.1%	9.2%
EBITDA	216億円	245億円	271億円	286億円

自己資本比率 **40%以上** ROE **10%以上** 配当性向 **30%以上**

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 2019年3月31日現在	当第2四半期末 2019年9月30日現在	科 目	前期末 2019年3月31日現在	当第2四半期末 2019年9月30日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	82,857	85,529	流動負債	74,706	68,705
現金及び預金	15,203	17,789	支払手形及び買掛金	48,037	46,046
受取手形及び売掛金	45,751	42,498	短期借入金	315	239
商品及び製品	15,002	18,099	1年内返済予定の長期借入金	3,778	3,588
仕掛品	3,056	3,030	未払法人税等	2,109	3,431
原材料及び貯蔵品	2,258	2,473	賞与引当金	1,348	1,563
その他	1,588	1,640	その他	19,116	13,835
貸倒引当金	△3	△2	固定負債	34,519	32,397
固定資産	121,004	114,840	長期借入金	23,072	21,350
有形固定資産	100,275	92,189	役員株式給付引当金	13	20
建物及び構築物(純額)	50,645	51,843	退職給付に係る負債	4,566	4,627
土地	26,481	18,746	資産除去債務	363	366
その他(純額)	23,148	21,599	その他	6,504	6,032
無形固定資産	1,288	1,275	負債合計	109,226	101,102
投資その他の資産	19,440	21,375	純資産の部		
投資有価証券	5,654	5,559	株主資本	80,237	83,942
退職給付に係る資産	9,908	10,118	資本金	7,908	7,908
その他	3,902	5,720	資本剰余金	8,600	8,600
貸倒引当金	△25	△23	利益剰余金	64,108	67,841
資産合計	203,862	200,369	自己株式	△380	△408
			その他の包括利益累計額	5,877	5,682
			その他有価証券評価差額金	1,803	1,749
			繰延ヘッジ損益	32	18
			土地再評価差額金	2,518	2,518
			為替換算調整勘定	142	156
			退職給付に係る調整累計額	1,382	1,240
			非支配株主持分	8,521	9,641
			純資産合計	94,635	99,267
			負債純資産合計	203,862	200,369

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 自2018年4月1日 至2018年9月30日	当第2四半期 自2019年4月1日 至2019年9月30日
売上高	204,867	206,400
売上原価	172,892	173,813
売上総利益	31,974	32,587
販売費及び一般管理費	24,730	25,055
営業利益	7,243	7,531
営業外収益	539	558
営業外費用	259	145
経常利益	7,524	7,945
特別利益	375	2,390
特別損失	101	111
税金等調整前四半期純利益	7,797	10,224
法人税等	2,623	3,349
四半期純利益	5,174	6,874
非支配株主に帰属する四半期純利益	417	1,127
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,757	5,747

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 自2018年4月1日 至2018年9月30日	当第2四半期 自2019年4月1日 至2019年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	17,331	8,009
投資活動による キャッシュ・フロー	△9,836	△1,063
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,326	△4,630
現金及び現金同等物に係る 換算差額	12	5
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	5,181	2,322
現金及び現金同等物の 期首残高	12,168	13,732
現金及び現金同等物の 四半期末残高	17,350	16,054

Topics

成長戦略

茨城工場に ハム・ベーコン主体の新プラントが完成

プリマハムは、中核拠点である茨城工場において180億円を投じてハム・ベーコンなどを生産する新プラントを建設し、月間1,500トンだったハム・ベーコンなどの生産能力を2,500トンに引き上げ、効率的で環境負荷の少ない生産体制を構築しました。今後、商品の高付加価値化を進めるとともに安全対策や環境対応を進めていきます。

●新プラント概要

- ・所在地 茨城県土浦市中向原635
- ・生産能力 2,500トン/月
- ・延べ床面積 約27,300㎡
- ・生産開始 2019年6月



異物混入やパッケージ不良などを検出する「検査工程」から「箱詰め」までのラインを自動化

ステークホルダーの皆様へ

販売促進 活動

東京ディズニーシー®貸切イベントご招待

「春のおいしさ、ふれあい。キャンペーン」の抽選で当選されたお客さまを東京ディズニーシー®夜間貸切イベント「プレシャスナイト」にご招待いたしました。(2019年10月4日)

今後も東京ディズニーランド®、東京ディズニーシー®のオフィシャルスポンサーであることを活かし、様々なキャンペーンを展開してまいります。



プリマハムは東京ディズニーランド®、東京ディズニーシー®のオフィシャルスポンサーです。

©Disney

CM

当社はイメージキャラクターに土屋太鳳さんを起用し「香薫あらびきポークウインナー」の新CMをはじめ、ギフトパンフレットにも登場いただきました。

土屋太鳳さんには、現在ポスター、パネル等様々な販売促進ツールにもご登場いただいております。



イメージ

株主優待制度

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々へ長期的に当社株式を保有していただき、当社事業に対するご理解をより深めていただくことを目的に株主優待制度を導入しております。

●対象となる株主様

毎年9月30日現在の株主名簿に記載された、200株以上保有されている株主様が対象となります。(2018年10月1日付にて5株を1株に併合)

中間配当

当社は、株主の皆様への利益還元之机を充実させることを目的に9月30日を基準日とする中間配当を実施しております。当期の中間配当は、1株当たり20円となっております。

【当期の効力発生日は2019年12月2日】

「統合報告書2019」を発行

株主様・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様には、プリマハムグループの価値創造の姿をよりわかりやすく伝えるため、初の「統合報告書」を作成しました。当社グループの競争優位性や現在のリスク、持続的な企業価値向上に向けた取り組みなどを記載しています。



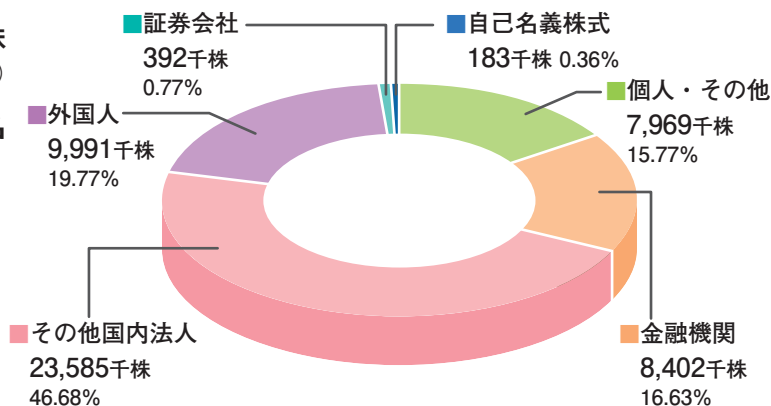
株式情報

株式情報(単体)

(2019年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 **70,000,000株**
- 発行済株式総数 **50,524,399株**
(自己株式183,111株)
- 株主数 **22,499名**

●所有者別株式分布状況



●大株主

大株主名	持株数	持株比率
伊藤忠商事株式会社*	20,048千株	39.68%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,453千株	2.87%
伊藤忠食品株式会社	1,389千株	2.75%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,345千株	2.66%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,342千株	2.65%
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR:FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	1,250千株	2.47%
学校法人竹岸学園	908千株	1.79%
株式会社サンショク	800千株	1.58%
農林中央金庫	713千株	1.41%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	695千株	1.37%

(注) *印の株主は、発行済株式(自己株式を除く。)の総数の10分の1以上の株式を保有しています。

会社概要

会社概要

(2019年9月30日現在)

■ 会社概要

商号	プリマハム株式会社 Prima Meat Packers, Ltd.
本社	〒140-8529 東京都品川区東品川4丁目12番2号 TEL:03-6386-1800
代表者	代表取締役社長 千葉 尚登
事業内容	ハム・ソーセージ、食肉および 加工食品の製造販売
創業	昭和6(1931)年9月1日
設立	昭和23(1948)年7月9日
資本金	79億8百万円
従業員数	1,891名
支店等	東北支店(宮城)・関東支店(東京)・中部支店(愛知)・ 関西支店(大阪)・中四国支店(広島)・九州支店(福岡)
工場	北海道工場・茨城工場・三重工場・鹿児島工場
物流センター	関東物流センター(茨城)・三重物流センター・ 福岡物流センター
研究機関	基礎研究所(茨城)・ 製造・技術部(機械開発担当部門)(茨城)
グループ会社	35社

■ 役員

代表取締役社長	千葉 尚登
取締役	鈴木 英文
取締役	鯛 健一
取締役(社外)	山下 丈
取締役(社外)	野尻 恭
常勤監査役(社外)	佐藤 功一
常勤監査役(社外)	下澤 秀樹
監査役	京田 誠

贈られたあの方はもちろん!
贈るあなたにもチャンス!

PRIMAHAMの匠の膳で
もう一つの喜び
Wプレゼントキャンペーン

＜A＞ 東京ディズニーリゾート・パークチケット(ペア)
※有効期間はおよそ1年間です。 抽選で200名400名様

＜B＞ 鹿児島県産黒毛和牛ロースすき焼き
430g 抽選で400名様

応募について「匠の膳」をお受け取りになった方が、商品に附随されている専用応募ハガキで応募できます。ご当選された場合は、「匠の膳」を贈った方と受け取った方の双方に景品をご送付いたします。

対象商品▶ プリマハム匠の膳シリーズ全商品
応募締切▶ 2020年1月10日(金) ※当日消印有効
お問い合わせ先▶ プリマハム キャンペーン事務局 ☎03-3549-1186
(土日祝日はおよび年末年始を除く10:00～17:00)

抽選発表▶ 厳正なる抽選の上、景品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

プリマハムは東京ディズニーランド、東京ディズニーシーのオフィシャルスポンサーです。



TZ-60



TZ-41

※株主優待商品は対象外です。

株主メモ

- 事業年度
毎年4月1日から翌年の3月31日まで
- 定時株主総会
毎年6月に開催いたします。
- 基準日
定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他、必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
- 単元株式数
100株
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- お問い合わせ先・郵便物送付先
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
 - ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
 - ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
- 公告の方法
電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。

プリマハム株式会社

東京都品川区東品川4丁目12番2号 品川シーサイドウエストタワー 〒140-8529
電話 03-6386-1800
<https://www.primaham.co.jp/>

